

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-1-1		事業名	地域と創る冬みち事業				
担当	建設局管理部雪対策室事業課推進担当 吉元 211-2662							
全体計画								
事業内容	<p>市民要望の高い生活道路の除排雪について、地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを進め、現在の雪対策の実態を理解していただくこと、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を行うことで、市民の理解や満足度を高めることを目的とする。</p> <p>平成17年度に7区13町内会で試行し、平成18年度には「雪に負けないサッポロづくり本部」の主要課題である「市民との連携」の解決策としてこの事業を位置付け、10区176町内会で本格実施した。</p> <p>平成20年度までの集中的な取り組み期間後の平成21年度には、地域住民との話し合いを経て決定した取り組みを周辺町内会に拡大し、全市展開していく。</p>			<年度別の事業内容>				
				<p><平成19年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・地域の実情に即した取組の実践 <p><平成20年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・地域の実情に即した取組の実践 <p><平成21年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・これまで実践した取組を周辺町内会に拡大 <p><平成22年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、除雪事業者、行政の三者による話し合いを実施 ・これまで実践した取組を周辺町内会に拡大 				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会を実施 実施町内会数:105</p> <p>・実践した取組の効果等を検証するとともに、初めて参加した人にも現在の雪対策の実態を理解していただくため、これまで実施した町内会を対象に懇談会を実施 実施町内会数:161</p> <p>・平成18年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布世帯数:59,000</p>			<p>・現在の雪対策の実態を理解していただくとともに、限られた予算のなか、地域の実情に応じた除排雪等を実践するため、新規町内会を対象に懇談会等を実施 実施目標町内会数:109</p> <p>・平成19年度に実践した取組の効果や地域の満足度を把握することや、前年度から継続して実践した取組に関する地域満足度の変化を検証すること、更には降雪量の多少による地域満足度の変化を検証するため、これまで事業を実施した町内会を対象にアンケート調査を実施 調査票配布予定世帯数:35,000</p>				
達成目標の状況								
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
事業に参画した町内会数		186	291	400	480	560	560	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 雪対策の実情を理解した上でツルツル路面に市民自らが滑り止め材を散布したり、地域の生活ルールを定め、その徹底を図るために地域住民・除雪事業者・行政の三者合同によるパトロールなどの取組を実践している。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 雪対策の実情を行政と除雪事業者が連携説明することで、地域住民とより詳細な情報共有が図れる。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 地域の課題等について、事業参加者が活発に話し合いができるようワークショップによる懇談会形式を用いている。</p>								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-1-1		事業名	地域と創る冬みち事業		
評価(成果)			課題			
平成19年度までに懇談会等の事業を行っているのは291町内会であり、その内227町内会では、地域住民自らが行動したり、地域住民・除雪事業者・行政が協働で取り組むなど、地域の課題解決に向けた取組を実践している。			地域の生活道路の除排雪における課題等を解決するために各取組を実践したが、平成18年度は暖冬少雪という気象状況から、その効果を確認できるまで至っていない地域が多かった。 また、町内会会長等と十分な日程調整を行って懇談会等を開催しているものの、地域によっては出席率が低い地域もあった。このため、懇談内容を記した「冬みち通信」を全戸配布または回覧し、全住民への周知を図っている。			
今後の事業の予定・方向						
今後の事業は、これまで同様、雪対策の実情を理解していただく懇談会等を新たな町内会でも実施していく。また、地域の課題解決に向け実践した取組については、これまで事業を実施してきた町内会の隣接町内会にも実践を働きかけるなど、取組地区の拡大を図っていく。事業最終年次である平成22年度には、事業対象全町内会の3割に相当する560町内会で事業実施することを目指す。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	128,000	133,000	96,000	96,000	453,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債 その他	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
一般財源	128,000	133,000	96,000	96,000	453,000	
予算	事業費	128,000	111,000	-	-	239,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他	0 0	0 0			0 0
一般財源	128,000	111,000			239,000	
実績	事業費	128,000	-	-	-	128,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他	0 0				0 0
一般財源	128,000				128,000	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				52.8%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						